

平成27年度（音楽）授業改善推進プラン

	指導方法の課題分析	具体的な授業改善策	補充的・発展的な学習指導計画
第一学年	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽に苦手意識、また嫌いな生徒が若干いる。 ・実技（笛）の指使いとタンギングに課題のある生徒がいる。 ・合唱の基礎はあるので、伸ばしていきたい。地声が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教材を厳選すると共に成功体験を積み重ねていきたい。生徒自身の活動を多く取り入れる。 ・授業内では難しいので補習を行う。 ・発声を常に意識させ、能力に応じた課題によって伸ばしていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・昼休み、放課後を使って個人指導を行う。
第二学年	<ul style="list-style-type: none"> ・楽典を理解するのに時間がかかる。 ・意欲に応じて様々な課題を与え、多角的に音楽表現の能力を伸ばしたい。 ・合唱の意欲は高い。発声を重視し、さらなる表現を得とくさせたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内では難しいので補習を行う。と、同時に音楽の要素を常に意識させ、繰り返す必要がある。 ・プリントなどの活用により、視覚からもしっかりと捉えられるようにする。 ・発声・腹式の徹底と曲の理解度をあげる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・昼休み、放課後を使って個人指導を行う。
第三学年	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎知識は高いが、それを表現に生かすことが十分ではない。 ・合唱指導においては、意欲と能力の差がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・成功体験を積み重ねながら、生徒主体の活動を多くし、音楽表現の楽しさを感じさせたい。 ・発声の重視と課題を選び、能力を伸ばしたい。 ・意欲のある生徒を中心に活発な授業展開を心掛ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・昼休み、放課後を使って個人指導を行う。